

令和元年度第3回掛川市総合計画審議会 議事概要

| | |
|-----|-------------------------------|
| 日 時 | 令和元年 12 月 13 日（金） 10:00～12:00 |
| 会 場 | 掛川市役所 5 階 議会全員協議会室 |

■出席者（敬称略）

| No | 所属等 | 氏名 | 出席状況 |
|----|--------------------------|--------|------|
| 1 | 掛川市社会福祉協議会 | 伊藤 敏子 | 出席 |
| 2 | 株式会社静岡銀行掛川支店 支店長 | 木野 章博 | 出席 |
| 3 | 株式会社大と小とレフ 取締役 | 鈴木 一郎太 | 出席 |
| 4 | 掛川市社会教育委員会 委員長 | 鈴木 緑 | 出席 |
| 5 | 静岡県西部県民生活センター 次長 | 高橋 由利子 | 出席 |
| 6 | 国土交通省浜松河川国道事務所 所長 | 田中 里佳 | 出席 |
| 7 | 掛川市地区まちづくり協議会連合会 会長 | 中村 隆哉 | 出席 |
| 8 | NPO 法人掛川国際交流センター | 樋代 典子 | 欠席 |
| 9 | 静岡大学 人文社会科学部長 | 日詰 一幸 | 出席 |
| 10 | 掛川みなみ商工会 副会長 | 平松 季哲 | 出席 |
| 11 | 一般社団法人中東遠タスクフォースセンター 理事長 | 星之内 進 | 出席 |
| 12 | 株式会社三菱総合研究所 主席研究員 | 村上 文洋 | 出席 |
| 13 | 東京女子医科大学看護学部 教授 | 守屋 治代 | 出席 |
| 14 | 株式会社山本製作所 専務取締役 | 山本 美鈴 | 出席 |

| 発言者 | 発言内容 |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 開会 | |
| 事務局 | <p>皆さんおはようございます。</p> <p>本日はご多忙のところお集まりをいただき誠にありがとうございます。</p> <p>定刻前でございますが、ただいまから第3回掛川市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の日程でございますが、おおむね2時間を目安として協議を進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日総合計画審議会委員の名簿を8番の樋代様から欠席のご連絡をいただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速でございますが、会長よりご挨拶をお願いいたします。</p> |
| 2. 会長あいさつ | |
| 会長 | <p>皆様おはようございます。大変お忙しい中お時間を割いてご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この審議会も今日で3回目でございます。前回、副市長から今後の掛川市の様々な観点からの展望のお話をお伺いしまして、それをもとにしながら皆さんと意見交換させていただいた次第でございます。</p> <p>その後、市民、高校生の皆様とのワークショップとか将来ビジョン検討委員会あるいは市民委員会等ですね、いろいろなご意見を賜ったと伺っております。</p> <p>今日はそういったものが反映された資料がございます。将来ビジョン検討会の報告書や改定の案がお手元でございます。今日はその中身について皆様と御検討いただくこととなりますけれども、ぜひ各ご専門の領域のところでご意見をいただければと思っております。</p> <p>最後までどうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 3. 市長あいさつ | |
| 市長 | <p>改めまして、おはようございます。</p> <p>今日はどうもありがとうございます。</p> <p>第二次の掛川市総合計画の前期計画は、人口減少を発端とした様々な課題に立ち向かい、克服する総合戦略書であります。今回の改定には前期計画に加え、人生100年時代の事態やテクノロジーの急速な進化による社会情勢の変化を見据え、20年後の掛川市を想像しながら、今後重点的に取り組むべきまちづくりの方向性について示したものとしました。</p> <p>この検討に当たっては、将来を担う高校生や市職員有志による将来ビジョン検討会を組織し、副市長が取りまとめをした報告書の内容を盛り込みました。</p> <p>20年後は高齢者が人口の3分の1、それから外国人も1割を占めるまでになると予想されております。</p> <p>一方、AIが生活に浸透し、自動運転による移動が実現し、外国人や日本人の区別なく、お互いが快適に生活をしているそのような社会になることを想像しております。</p> <p>そのような社会でも行政として、全ての人にやさしく持続可能なまちとしてあり続けるように総合計画の改定をしていきたいと考えております。</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>今日は具体的な政策を盛り込んだ素案についてお示しをいたしますので、皆様のこれまでのご経験や専門的な見地から活発なご議論をご期待申し上げます。</p> <p>私からの挨拶とさせていただきます、よろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、これより議事に移っていただきますが、以後の議事につきましては、条例の規定に基づき、会長をお願いいたします。</p> |
| 4. 議事 | |
| 会長 | <p>議事次第には今日は一つございまして、掛川市総合計画改定案ということでございます。</p> <p>最初に事務局からご説明いただきまして、それをもとにしまして委員の皆様と意見交換ができればと思います。</p> <p>それでは事務局の方からよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | 改定案、資料1、資料3の説明 |
| 副市長 | ビジョン検討会報告書説明 |
| 事務局 | <p>資料4説明</p> <p>資料1説明</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>今、資料3と資料4を使ってご説明いただいておりますが、資料3のところでは戦略の柱が6本ございまして、一つ一つについて先ほど資料4をもとにしながらご説明をいただいております。その一つ一つの柱について、皆さんからご意見をいただければと思っております。</p> <p>何分にも限られた時間でございますので、一つの柱でだいたい10数分しか時間がとれませんけれども、本当に十分にご意見をうかがいきれない部分があるかもしれませんが、そのあたりは何卒ご了承くださいとともに、もし言い足りない部分があれば、事務局の方へお寄せいただくことでご承知いただければと思っております。</p> <p>今日の進め方とか今後のことで何か皆様の方でおわかりにならなかったこととかご質問ありましたらお出しいただきたいと思いますが、何かございますか。</p> |
| (1) 生涯にわたりこころざし高く学び心豊かに暮らすまち（教育・文化分野） | |
| 会長 | <p>戦略の柱の一つ目。</p> <p>教育文化分野ですけれども、個別の施策では4本ございます。また、この分厚い方になりますけれども、38ページからです。付箋紙が貼ってありますので皆様のお手元のところにもございますが、その内容につきまして皆様のご意見あるいはこういったところはもう少し聞いてみたいというようなご質問がございましたらお出しいただきたいと思っております。</p> <p>どんなところからでも結構でございますのでご意見いただければと思っております。</p> <p>いかがでございましょうか。</p> |
| 委員 | <p>総合計画全体の改定の柱として、人生100年時代とテクノロジーの急激な進化ということを柱に持っていらっしゃる中で、教育の面ですね、グローバル人材の育成ということで、柱の一つ設けられていますが、グローバル人材だけではなくて、AIに関する新たなテクノロジーに対する人材の育成ということも、今後必要になってくるもの</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | かと思いますが、その辺りは改訂版の中でどこかで触れられているのでしょうか。 |
| 会長 | テクノロジーに明るい人材をいかに育成していくのかといった観点ですけれども、いかがでしょうか。 |
| 教育長 | ご指摘にあった通りで、これからの学校現場でプログラミングのような学習も始まっていくわけですが、本当にまさに正しいテクノロジーに触れるような、そういった観点での育成というのは当然必要だと思いますので、確かにこの中に入っていないので、必要と考えていきたいと思います。 |
| 委員 | ありがとうございます。ぜひその際に、学校教育ももちろん必要ですけれども、我々の国交省でも就職してから新しい技術を身につけることの困難さというものも感じていますので、リカレント教育、そういったところも入れていただければいいのかなと思います。 |
| 教育部長 | ただいまご提案いただきましたリカレント教育ですけれども、本編の43ページの最下欄⑤生涯学習機会の充実のところ、社会教育の分野の中に記載させていただいております。 |
| 会長 | ちょうど43ページの⑤のところになりますかね。そこにちょっと触れられているということで、もう少しそのあたりを踏み込んでというご意見でいらっしゃいますでしょうか。 |
| 委員 | そうですね。特に新しい技術に対する時代の変化に合わせた教育ということを盛り込んでいただければ。 |
| 会長 | それではご検討をよろしくお願ひしたいと思います。 |
| 委員 | 生涯学習という表現ですが、43ページには出ていますが、少し個別施策の4つのところに見られないです。 確かに生涯にわたり志高くと書いてありますので。そこはわかりますが、個別的な具体的ところに記載がないので。なんとなくこれまで推進してきた生涯学習という言葉の意味合いが少し後退しているような。見方によっては、そんな感じがしましたので。その辺の考え方についてお伺ひしたいと思います。 |
| 会長 | 教育委員会の方、お答えいただいてもよろしいでしょうか。 |
| 教育長 | 生涯学習ということで、掛川では先進的に進めてまいったわけですが、先ほどのリカレント教育ですけれども、元々リカレント教育があつてそれが生涯学習と言われ、現在はまたリカレントということで、いわゆる学び直しの中で自分のキャリアと向き合つて、これから学び直しをしていく時代だつていうことを、国でも県の方でもそういう政策という方向性で今後進めていくのではないかということですね、やっぱりそこを大事にしていこうと、生涯学習の原点はリカレントというそういった意識で今考えております。 本当にこれから高度に複雑化した社会の中で、やっぱり主体的に学んでいくという、そういう子供を育成していかなければならないと私ども考えておりますので、そういった意味での生涯学習を大きく出すよりも、リカレントという所をもう少し焦点を絞つて表現していた方がいいかなと私は考えております。 |
| 会長 | 生涯学習ということは学校教育だけではないと思います。広く市民全体に関わる部分 |

| 発言者 | 発言内容 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>なので。生涯学習推進条例もつくってやっている中で、ここは個別施策に記載していない。そういう発言をしました。</p> |
| 山本部長 | <p>本日配付の改訂版の20ページをご覧いただきたいと思います。</p> <p>こちらの冊子の20ページに、まちづくりの基本理念と将来像ということで、掛川市のまちづくり1の(1)から(2)ということで、基本理念の内容を掲載させていただいております。</p> <p>今、お話ございましたように、掛川市は生涯学習のまちということで協働のまちづくりを推進する上で、この生涯学習の理念に基づくまちづくりを進めていきたいということで、下の囲み枠の方に、その前段ベースということで、こういう形で記載させていただいております。少し書きっぷりの部分でお感じになるところがあれば、私の方では、基本計画の部分で何ができるかということのを少し考えたいと思いますので、ありがとうございました。</p> |
| 市長 | <p>生涯学習都市宣言をした時点においては、生涯学習そのものが目的であり、手段でもあったわけですね。だんだん成長をしてきて学びが大きくなっていき、ある意味では、こういう目的があるときにその手法として、しっかり皆さんに学んでくださいという手段でもあるわけです。</p> <p>そういう意味で自治基本条例をつかって、改めて生涯学習の理念に基づいてやってみましょうと、報徳も入れて、そういうことでありますので、生涯学習が目的であったときから変わってきて、生涯学習を通して人間形成をしていきましょうよ、そういう位置付けで、今はそういう意味で協働のまちづくりを推進していきましょうと。</p> <p>だから協働のまちづくりの基本になっているのは生涯学習だと、こういう考え方がありますので、そういう謳い方をしていますが、生涯学習を改めてもう一度この総合計画の中の柱に位置付けるということのお話でしょうかね。</p> |
| 会長 | <p>そこまで発言するつもりもないのですが。</p> <p>元々、生涯学習という言葉が、時代によって変わるものではなく、理念的なものの言葉使いがあって。その言葉の意味合いをもっと大事にするべき必要があると思う。</p> <p>基本計画を変えることではなくて、どこかにそういった表現的なもので、進めていって形でいかないと。いろいろ考えていただきたいことはありますけど、時間的に。一般的な内容で考えると、これまでが生涯学習というはずなんだけど、状況の変化に関わらず、基本的に理念については、やはりこれまでの形で継続していく必要があるんじゃないだろうかってことで発言しました。</p> |
| 市長 | <p>6本の柱の中に、そのようなことを念頭にもってきます。</p> |
| 会長 | <p>そういう意味でいうと、個別施策の中に、入れた方が良くないと思ひまして。それで発言したわけですけどね。</p> |
| 会長 | <p>先ほどの教育長のお話ですと、要するに一番大元のところ20ページのところでございますけれども、掛川におけるまちづくりの基本的な理念というのはまさに生涯学習だということ、その理念が要するに基盤のところずっと続いてきているということなので、それをベースにして個別の施策があるという理解でよろしいですか。個別に言うことよりも、すぐ上のところに横断的にその理念が貫徹していると理解していいのではない</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | かと思います。掛川のシンボルでもあるので、ぜひ大事にしてほしいということだと思います。 |
| 市長 | 個別施策の中に「生涯学習」という文言が入るように検討します。 |
| 委員 | <p>自分のエリアからの話で申し訳ございません。</p> <p>1-①市民総ぐるみというところは本当に押し進めてほしいことなのですが、今、私が所属している社会教育委員会の方に教育委員会からいただいた研究テーマが地域学校協働活動の充実について、学校以前は学校地域支援本部という、これは文科からの名称なんですけれども、地域が学校を支援するのではなくて、地域と学校が協働で子供を育てていくようなスタンスだと思います。本市では中学校区学園化構想というのがありますので、それをさらにそういった意味で進化させていく意味合いにもとれるのですが、ぜひそこに、ポツっていい感じでもいいんですが、さらに地域が学校とともに地域子育てに邁進していくんだということがよく見えるように、「地域学校協働活動」という文言を入れていただけたらと思っているしだいです。</p> <p>ご検討願います。</p> |
| 委員 | <p>いろいろ取りまとめ事務局の方ご苦労だったと思います。本当に頭が下がります。あと前回欠席しましたのでコメントだけ出させていただきました。</p> <p>今回は出席できたのでここでコメントさせていただきます。</p> <p>先日島根県海士町に行って、隠岐国学習センターのセンター長の方とお話をしてきたのですが、ご承知のようにあそこは島留学ということで主に島根県ですが、県立隠岐島前高等学校と公立の学習塾ですね学習センターが協力して、全国から生徒を集めていると。そこで学び方を教えるという教育方針で公立高校と公立の学習センターが連携して行っている。</p> <p>こうした取り組みは今全国に広がりつつありまして、県立高校に関わってきますので静岡県と協力しないと進められませんが、どういう人材を育てるかというのと、全国から高校生を集めると生活する人が増えるので、当然消費も増えるし、その親も定期的に来るので経済効果もあるというようなメリットもありますので、そういう他市他県の取組などはぜひ参考にして進められるといいかなと思います。</p> <p>私がいいなと思ったのは、子離れ親離れを推進できると。特に都会の子は大学社会人になっても親子同居している子が多くて、なかなかそのときに親が子離れできないのですね。それをある程度生活利便性の良い田舎都市で暮らすことで日本の生活というものを知れるし、日本の文化を知ること子供にとってメリットがあるし、親にとってもメリットがあるので、ぜひそういったようなことをこの計画の中というよりは今後具体的なアクションプランを作る中で、ぜひ海士町にも視察に行っていて、参考にしていただければなと思いました。</p> <p>以上です。</p> |
| (2) 誰もが健やかでいきいきとした暮らしをともにつくるまち | |
| 会長 | <p>領域といたしましては健康子育て福祉分野ということになります。</p> <p>これにつきましてご意見いただければと思います。</p> |
| 委員 | 51 ページの一番下に⑥として出会い結婚支援というのがあります。 |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>前回はコメントを出させていただきましたが、少子化特に出生率の低下に関しては極めて深刻な問題なので、また後ほどコメントいたしますが、日本の出生率が下がっている原因として、結婚している世帯の子供の平均の数はだいたい 2.2 から 1.9 ぐらいの 2 人前後で推移しています。</p> <p>何で出生率が大幅に下がっているかという、50 歳の未婚率が以前は 1%とか 3%ぐらいだったのが今 20%前後であると、その結果出生率全体が落ちているということがあります。</p> <p>未婚率を下げるための方策が極めて重要になると、あともう一つは、ヨーロッパで取り組まれているのは、いわゆる結婚していない、あるいは離婚した親の子供に対しても十分なサポートをすることで出生率が上がっているというのもありますので、シングルマザーシングルファーザーの子供が幸せかどうかという問題とか文化的背景はまた別にあるので、それがいいとは限りませんが、やむなくそういう状況に置かれた子供に対するケアも十分することで、出生率を上げることもできますので、出会いの話とか、そういったシングルマザーシングルファーザーのケアというのは重要なことと思っています。</p> |
| 委員 | <p>消費者被害の多くが高齢者です。その辺りのケアをどこで見るのかなと思ったときに 2-⑦が一番近いかと考えました。このところには福祉という枠で民生委員の方だとかの活動ですとか、それから生活困窮者への支援ということで事業の柱立てがされていますけれども、消費生活相談でもやはり生活にゆとりのない層ですとか、身近に相談相手がない方が、被害に遭いやすいということで目立っています。</p> <p>今静岡県では掛川市さんをモデル事業の地域としてモデル事業を実施しております、消費者団体と連携した個別訪問ですとか、福祉の分野と非常に近い手法で見守り活動を行っています。</p> <p>ただ市の組織において、産業労働政策課に消費者行政が位置づいているものですから、こういう計画の区分で並列に並べるのは話しにくいことがあるのかもしれないんですが、言葉としてそうした消費の部分での弱者というか、そういう部分での連携も少し触れていただけると。連携の種類として結構ですので、触れていただけるとありがたいと感じました。</p> |
| 会長 | <p>あまり表面化しない部分のところではありますが、非常に大事なことだと思いますので、ぜひ取り組みをお願いしたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>生涯福祉に関係するところで、実は今東京のある団体と一緒に軽度の障害のある方が学校卒業後に学びの機会をどのように作っていくかという実践研究事業に取り組んでいます。その中で、学びは学校で学ぶことよりも社会に出て、例えばこういう場で人から話を聞いて学ぶとか、人とコミュニケーションを通じて学ぶことの方が実は僕たちも多いのではないかとすることを柱にして、より多様な人たちとのコミュニケーションの場を作りながら、そこでどういうふうに学びを得ていくのかということをいろんな専門の方々とやっています。</p> <p>公的に彼らが育つとき 18 歳、それ以降もそうかもしれないですが、18 歳までに本当に交わる機会がとても少ないですね。特別支援学校に行く、放課後児童サービスを使う、</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>家に送り届けられるという形で日常ができている子が大多数なので、学校に行っている間は仕方がないのかもしれないですが、卒業後にそのような福祉サービス外のところでも、例えば掛川市さんの協働の推進があったり協働センターもいろんな活動があると思うので、いわゆる福祉の専門の方々だけにそういった場所をそういった機会を提供するのを委ねるのではなくて、他の領域との連動を促進していくことで、そういった機会というのは作れるのかなど。なんとなく福祉の予算で福祉の人たちが障害の人たちを支えるように読み取れると感じたので、そのあたりをコメントさせていただきました。</p> |
| <p>会長</p> | <p>よろしいでしょうか。ユニバーサルな観点から障害の方々に関わるというところかなと思いますが、よろしく願いいたします。</p> |
| <p>委員</p> | <p>51 ページの②の中で地域ぐるみで持続的に子育てを行うということが書かれております。これは色々なところに通じることかなと思います。例えば 55 ページの②の子育て支援施設の充実のところ、子育て世代が集える広場等の整備を推進するという所とも連動するかと思うのですが、公的な施設を整備するとか体制を整備するというだけではなくて、街中にお母さんであるとか、子供の居場所をつくるというか、そういう場所を持つ店舗、空間をうまく形成していくことにぜひ取り組んでいただきたいなと思っています。近くですと、岡崎市はわがままハウスというお母さんが作ったカフェがあって、周辺の店舗でオムツ交換ができるお店を協賛しているとかですね、あと東京の江東区だったか、喫茶ランドリーというリノベーションしたお店では、本当に何でもできる空間なのですよね。禁止する行為がないというか。おばあちゃんも子供たちもビジネスマンも多様な人が来てそこで時間を過ごせる空間があったりします。そういう色々な空間許される空間があると、子供たちお母さんたちが街で過ごす時間が増えてくると思いますので、複合的な取組になるかと思いますが、そういったものを書き込んでいただければいいのではないかなと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今の話に繋がりますが、居場所づくりは子育てだけではなくて、高齢者が最後まで生き生きと地域で暮らしていくためには、話し合う場とか、結局まちづくりにも関係してくるので、まちづくり協議会の中でも居場所をどうするかというのはなかなか解決しない問題で、どこの地区も抱えているかと思います。今回この計画が面白くなったと思うのは、それぞれのテーマの上は何課が担当するのかが複合的に出てきているので、担当課が見えやすくなってよかったと思うのですが、反対に書いただけにそれ以外の課はそこに関わらないということにはならないように、居場所は本当に医療に関しても相当重要な、まちづくりに関しても重要なテーマだと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>少しだけ文化の話になりますが、文化芸術振興ということと文化財の活用ということが文化事業として今まで大きく取り上げられてきたことですが、今、関係する領域がものすごく拡大してきている。それこそ医療のことだったり子育てのことだったり地域づくり障害者のことだったり、まちづくりであったりと。静岡県の方もその方向を目指していこうと今話をしていたりもしますが。僕も関わらせていただく茶エンナーレで、少しはその辺にみたいなきょうができたかなと思っていますが、ぜひ今後 10 年計画の中で文化芸術の位置づけというか活用して、</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>今までの居場所づくりであったりとか、別に文化芸術だけではなくてももちろんよいですが、活用する余地がすごくあるだろうなと思っています。</p> <p>具体的に僕は浜松の方でコミュニティスペースを運営していますが、収益は基本的にはトントンです。けどもう5年6年ぐらいから継続でその場所はずっとあります。仕組みとしては立体駐車場の管理業務を請け負っています。その業務をやりながら場所の最低限の人員費にあてる形で、そこに障害の方も来られるし子育ての方も来られるし、予防医療のことに関心があるコミュニティ、ナースの方が来られたりとか、そういうような場があったりもします。</p> <p>ぜひ文化のところにも、その力をうまく活用して、他の領域に成果が出るようなことをしていただけたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>今、子育ての部分で居場所とかそういった話が出ましたが、施設だけではなくやっぱり総合的に地域で子育てをしていく時代になってきていると思います。</p> <p>核家族が増えお母さん方の昔と違った多種多様の悩みが出てきております。そういったところで今、児童館ではいろんな相談を受けたりしていますが、やはりお母さん方は相談というよりも自分の話を聞いてほしい場を求めている方が多いです。掛川市内にも地域で子育てサロンサークルを立ち上げている他社がたくさんありますが、そういった施設だけの対応ではなく、地域が触れ合って交流できる場をもっと増やしていただいて、子育てにはいろんな年代の交流が関わってくると思いますので、子供だけではなくいろんな人が交流できる、地域の住むお母さん方が集まれる居場所があるといいかなと思ひまして、ご意見させてもらいました。</p> |
| 副市長 | <p>今、居場所のことについていろいろ提案いただいているので、子供から高齢者まで本当に色々な世代の方の居場所づくり、これは実は高校生からも居場所が欲しいということで、いろんな事情で夜ですね、例えば自営業だったりして、安心して勉強できる環境が欲しいということも言われたりしていました。今駅前も子育て世代やお子さんも居られるような場所を検討したりしていますが、色々な世代の居場所づくり、これは人との繋がりという今回のキーコンセプトとも合致することなので、計画の6本の柱のどこに入れるかは非常に難しい問題になりますが、検討させていただきたいと思ひます。ありがとうございます。</p> |
| (3) 美しい自然環境と共生し、エネルギーの地産地消と資源循環を実現した持続可能なまち | |
| 会長 | <p>環境分野ということになりますけれども、これにつきまして皆様の方からご意見をいただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>例えば 3-①のようにしっかりした計画が出されてきていると思いますが、全体として、産業に関して言うと、少し希薄な感じがするのですよね。生活の部分、市民の部分あるいは公共の部分は、いろんな施策が考慮されていると思いますが、一方で環境への負荷を考えたときに、特に掛川市の場合は中小企業が圧倒的に多い。あるいは商店のようないわゆる零細の企業がたくさんある。市民から出ているエネルギーやゴミとかの環境への負荷というものと、中小零細企業から出ているものがある。これを比べたときに一体どのぐらいなのかというと、一般的には結構大きい。</p> <p>環境に対して言うと競合したり競争したりという世界ではなくて、零細な企業も一緒</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>になって、皆さんが一緒になって、例えば商店もゼロエミッションにしていくとか、あるいは脱炭素にどうやって近づいていくかというようなことを考えていきたいと思っている思うし、そういう何か場をうまくコミュニケーションができるような施策がどこかにちらっと出てくるといいのではないかなと思っています。</p> |
| <p>協働環境部 長</p> | <p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>実は、パリ協定を受けた地球温暖化対策計画を、先日、区域政策編ということと市役所を対象にしたものと両方作りました。</p> <p>作って終わりではなくて、これからそれを市民や企業さんに普及啓発して実践していただいて区域政策では 26%削減するという大変重たい目標を考えておりますので、企業の省エネ指導とか、あるいは掛川を進めている地域森林力の考え方とかそういうものとセットにしながら、環境分野だけではなくて産業の方の担当とも連携しながら、広めていく仕組み、一緒になって膝詰めで話ができる場があればいいとは思いますが、なかなか難しい側面もありますので、やれるところから検討させていただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今の続きですが、一緒に考えていける仕組みや場づくりもそうですが、26%削減という目標となると、市民の立場、私ども会社の立場としましては、どういったことをやっていけばそれに近づいていけるのかという、ヒントといいますかアイデアといいますか、そういったものも少しご教授いただけるとありがたいなと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>委員の方からそういうお話がありましたので、どのような形で書き込めるかわかりませんが、ぜひそのような観点視点もよろしくお願いします。</p> |
| <p>委員</p> | <p>3-①の省エネ・省資源、再生可能エネルギーと森林関係は繋がるものかなと思って読ませていただきました。</p> <p>森林の活用木材の活用をいかに外に対して木材を移出していくかもありますが、掛川市内で活用していくかという所も一つ大きなポイントになるかと思えます。</p> <p>特に木材の新たな需要、活用となってくると、最近ですと、岩手県の紫波町という所では地元の木材を使って地元の建設業者さんに断熱高断熱の建築を学んでいただいて、地元産の木材を使って地元の建設会社建築会社に活躍いただいて、地元の中で資源とエネルギーが循環できるようなまちづくりを進めてらっしゃいます。</p> <p>区画整理の中で新築されるお宅はそういったところを使うというような施策もされていますので、ぜひ美しい森林を持っていらっしゃる掛川市さんであれば、そういった施策も参考になると思いますので、エネルギーと資源の循環と、地元の産業の活性化、お金の循環も含めてですが、そういったところを組み合わせた施策にぜひ取り組んでいただければと思います。</p> |
| <p>産業経済部 長</p> | <p>70 ページをご覧くださいますと、バイオマスの利活用プロジェクトというのが真ん中の少し下でございます。こういったことも今環境の方とともに進めており、75 ページの主要事業の中にも森の力の再生があります。具体的な経済への波及の部分は少し落ちている部分もありますので、その部分は十分検討し、環境もしくはもちろん産業の部分で対応してまいりたいと思います。</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | <p>次の4番の産業経済分野の方にも多少は関係するかもしれませんが、最近あった事例で、中小企業の方が自分たちの方が先に工場を出しているのだけけど後から引っ越してこられた方が音の問題であるとか振動の問題であるとかで、市役所さんの方に苦情を言われて、市役所さんの方からその中小企業の方に話をして、どこかに移るとなったら土地はあるのですかと言ったら、いま掛川市として移転できる所はないというのが現状であるというお話を聞きました。</p> <p>お互いが快適に暮らせる生活環境という中で、昔は公害で外の煙とかそういう所なのですが、今は音とか振動とかその辺を住民の方が非常に気にしている話もいろんなところから聞いていまして。次にも出てきますが、住環境が集中している中にある工場の移転をしっかりと考えていくべきではないかと。</p> <p>この前静岡銀行で地方創生全体会議を年に1回ぐらいやらしてもらっていて、掛川市の方にも出席してもらいましたが、富士宮市の方で1000坪単位のミニ工業団地の開発を進めることを市長さんがおっしゃっておいりましたので、ぜひ掛川でもそういうものになれば町並みも綺麗になって、お互いが快適に暮らせる生活環境に近づくのではないかなと思います。</p> <p>あと空き家対策もあるかもしれませんが、私もこの前、車で走っていたときに、結構古いアパート、コンクリート造りの社宅のような共同住宅のような、そういうような建物が掛川には多く残っているような気がしました。最近言われませんが、静岡銀行も古い店舗などを壊そうと思って壊しにかかるると実はアスベストがいっぱい使われていて、多額の費用がかかって防護服を着て作業するなんていう事例も聞いております。アスベストの問題も、工場であり共同住宅であり、古い建物の建築年月日とかをしっかりと調べて住んでいる人が安心して暮らせるような形を、行政としても考えていかれた方がいいかと思えます。</p> <p>今日の新聞を見て、最近こういうことも影響があるのだなと思って。浜松のこども園で職員さんがパワハラセクハラの問題で、集団で辞めるとして園が運営できなくなるかもしれないという記事が出ていまして、掛川市さんもいろんな所に認可をおろしていると思いますが、そういう問題で急に運営ができなくならないように会計を見るだけではなくて、人のコミュニケーションであるとか、そういうところも市として管理していかなければならない時代になったのかと今日新聞を読んで思いました。</p> <p>すみません。余計なことを言いました。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>前半のところでは、おそらく3-⑤のところでしょうか。お互いが快適に暮らせる生活環境の確保といったあたりのご指摘だったと思いますが、もし工場が移転したくても、それに見合う土地がないといったあたりの対応が、一つ課題としてあるのかなと思います。</p> |
| 産業経済部長 | <p>次の項目の部分に若干入るかもしれませんが、我々の方では89ページにあります、市内企業に関する支援というのが④にございます。それと工業用地の整備事業ということで主要事業の下から二番目にございます。こういったことで、市長副市長も含めまして、年間300件ほど企業回りをして企業のご意見を聞いたりしています。用地が</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>欲しいという部分では、当然都市計画の関係、農振の関係もございますが、いろいろな形で移転の部分、空き地がどれだけあるかということも含めまして、そこが合わさるような形でいければと思います。</p> <p>それと合わせまして、地球温暖化防止の関係で、SDGs 等の関係もありますので、企業がこの部分で加速をしていく、中小企業も具体的にこれを推進していくような形になっていきますので、この辺も環境部分、あと住まいの部分に合わせた企業が適地に動くということは、計画の中にこういった形で入れていくか課題でございます。部分のパートでは入っておりますが、今の点も御考慮してまいりたいと思います。</p> |
| (4) ホスピタリティによる賑わいと活力ある産業を生み出す、世界に誇れるお茶のまち | |
| 会長 | <p>産業経済分野での領域ということになりますが、これについて、皆様の方からご意見いただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>4-③「みんなが働ける雇用・就業の環境づくりの推進」と4-④「掛川にしごとをつくる商工業の更なる発展」ですが、私なんかが見ていますと、今後将来的にAIが入ったり色々な形で作業自体が変わってきますと、商工会の会員も変えていけないといけない部分が多いですね。商業においても昔とは全く違って商店がやっていけない時代になっていますから。単なるこういう言葉だけではなくて、もっと起業ができるように、若者にしても既存の商店の経営者にしても、どんどん新しい分野に進んでいけるようなビジネスモデルを変革できるような、そういう方向性を示してもらった方が、そうしていかないと生きていけない時代になっていますから。特に20年後なんて言ったら今の商店とか工業製品だけではおそらく難しい時代になっているのではないかと感じますので、そこら辺も起業という形で、業を起こすという部分を推進していただければありがたいなと思います。</p> |
| 会長 | <p>いわゆるスタートアップ支援のようなものだと思いますが、これが非常に重要だというご指摘だったと思います。その辺りはどこかに入っていますか。ぜひご検討いただければと思います。よろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>4-⑥「世界に誇れる「お茶のまち」であるために、儲かる茶業と「掛川茶」を楽しむ環境づくり」というのは、ホスピタリティの面では非常に大事だと思いますので、こういう形で進めていけばいいのですが、お茶お茶っていいですとまたお茶かっていうことで、若者から見たら何かあんまり進んでないという感覚があるわけです。</p> <p>その上に4-⑤「多様な担い手による力強い農業ビジネスの確立」もありますから、あんまりお茶だけに頼ることなく、今市長が進めているオリーブとか、もっともって掛川の土地とか気候を生かした農作物のブランド化、そういったものを図れるように具体的な形で記入した方が、何か夢がありますよね、若者から見ると。</p> |
| 市長 | <p>今のご批判は、農業者含めてあるのですよね。</p> <p>掛川はお茶だけではなく、施設園芸でメロン、イチゴ、トマト何でもあると、なぜ市長はお茶の話しかしないのかというご批判はずっと承知しております。ただ、掛川市が日本一、あるいは世界一と言えるものはお茶だと。これを先頭にして、あと作っているお菓子もそれについてたくさん。こういった広がりを持ったお茶という意味でお茶を取り上げてきましたし、20年後はわかりませんが、5年後ぐらいまではお茶</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>が先頭に立って。実は、先日バチカンに行って、モンテリーズィ枢機卿という天皇陛下の即位で祝意を述べた方で、御自宅にお招きいただいて、煎茶が出ましたので、だいぶ広がってきているなという思いもあって、やはり掛川を訴える一つのイメージとして。これは報徳も生涯学習もそうです。私は全国のいろんな大会に出るとか訪問するときには、報徳と生涯学習とお茶の三つを出して掛川のイメージを伝えます。お茶だけはないことは十分承知しておりますが、掛川をまずお茶で売り込んで、それを皆が追っかけていくというような体制を作りたいと思っていますので、悪いけど削らないでください。</p> |
| 委員 | <p>別の話題で申し訳ないですが、二つありまして、一つは4章全体で、個別に支援をしていこうという。例えば企業を個別にサポートしましょうという、こういう支援というのはわかりますが、一方で今ものすごくAIとかSNSが発達して、世の中にあるいろんな英知を使えるような環境が整ってきていますが、掛川市で現実にそういうことが使えるかと言ったときに、今までの例えば将来ビジョン中に、東京あるいは京都にいるいろんな英知をうまく掛川市で活用して、一つ一つの企業に支援するのではなく、積極的に掛川市の次の産業、こういうものを育てていくのだというような攻めのプロジェクトといいますか、そういうものについてのご検討を今までいただいていたのかというのが一点。そういうものが実はあんまり見えないと感じたものですから申し上げました。</p> <p>それからもう一つ。多分20年後もますます労働環境は厳しくなっていて、先ほど外国人の方たちが10%ぐらいを占めるとありましたが、総合計画の中で10%になってしまうという捉え方ではなく、雇用環境を確保していくために、積極的に受入れていくこと。労働環境の健全性を維持するためには、最初の教育のところでも申し上げることですが、今の外国人の子供たちの教育環境がしっかり整っていることが、雇用環境にも繋がってくると思います。外国人教育も各学校の支援という形がありますが、学校だけでなく、外国人の子供たちを健全にホスピタリティあふれるような環境のもとで育てられるように、この産業、雇用環境との組み合わせで少し強めて考えていただく必要があると思いました。</p> |
| 委員 | <p>産業経済ということで少し発言させてもらいたいと思います。</p> <p>掛川の中小企業の社長さんたちとヤマ発とかカワサキ機工の企業とか掛川にも立派な会社がありまして、とにかく大学生の求人は取れないと皆さん共通して言っている。</p> <p>浜松市の上場企業が何をしているかという、浜松駅のそばに研究開発する部署、場所を作って、工場内ではなくて駅からすぐ行ける場所で研究開発ができることを全面に出して人を募集しないと、人が集まってくれないと、今そういうふうになっているそうです。また駅前の何か開発とかありましたら、ぜひ地元企業の大学生の求人役に立つようなことも、市役所の方で頭の片隅に入れておいていただければと思います。</p> <p>教育のところ、小中高でどういうカリキュラムでやっているかわかりませんが、今言った企業もありますし、先ほど市長さんに言われたお茶ですね、抹茶になります</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>けど海外へ輸出しているお茶屋さんもあって、そういう工場もあるわけですね。丸山製茶さんは今度、川根本町に大きな抹茶工場を作るとかですね、静岡銀行の取引先だと茶そばを作っている工場があります。</p> <p>そういうところも、もしご希望あれば僕らの方で動いて工場見学させてもらえんと思いますので。ぜひ小中高ぐらいの時分から、地元の企業の工場見学をさせてもらうというのを教育の方の課の方でぜひ取り入れていただいて。そうすれば高校生になって地元の企業に勤めて掛川に住みたい人が増えてくると思えます。</p> <p>中小企業の方がこれから直面する問題として、後継者がいなくて M&A を考えないといけないお客さんがいまして、私も着任して 1 年になりますが、企業から正式にそういう手伝いをしてもらいたいというお話をいただく時代になってきています。</p> <p>掛川市の方も、60 歳以上の後継者がいない方というのが 50% 以上、日本全国では中小企業がいますので、その方たちが辞めていって、そこに勤めている人がいなくなれば人口減にも大きく繋がると思えますので。そこら辺も少しどこかに書き込んであるのか、私が見過ごしているかわかりませんが、創業とか廃業支援のところも、市として、金融機関と連携しながら結構ですので、取り組んでいただければと思います。以上でございます。</p> |
| 委員 | <p>産業に関しては極めてシビアな状況がこれから続くと思えます。</p> <p>日本全体でいわゆる生産年齢人口が 2015 年から 2060 年までで 3000 万人以上減るのですね。だから外国人労働者日本全体で 200 万から 400 万にしようと言っていますけど、全然それでは足りなくて。全ての産業において生産性を今の 1.5 倍とか 2 倍に上げないと、産業自体はもう維持できないというのが日本全体で置かれている状況です。</p> <p>だから他から労働者を持つてくることも厳しくなる。</p> <p>計画としては前向きな施策でいいとは思いますが、どの産業においても生産性の抜本的な改善を進める施策を今後やっていかないと、産業そのものが人手不足で成立しなくなる状況にあることは認識しておいた方がいいかと思えます。</p> <p>これは行政分野も同じで、総務省が出している 2040 構想では、今の半分の職員数で今の行政サービスを維持することを考えろと言っているのですね。今回の計画では行政分野のことはあまり触れられていませんが、行政内の効率化とか、いわゆるデジタル化とか、働き方改革とか、そういうものも結構重要になってくると思えます。</p> |
| 委員 | <p>4-③の 86 ページの下のグラフ、「市内高校卒業生の就業者全体に占める市内事業者への就職割合」があって、なかなか伸びていかないのですが、この数字が増えれば、掛川にずっと住み続けてくれる人も増えてくると思えますが。この数字というのは、元々このくらいの求人数なのか、それとも本当はもっとこの 3 倍、この人たち全員雇えるだけの求人数があるのか。あるけれども、高校生が希望しないので、この数字になっているのかというところで、右ページ③の地元就職の促進がありますが、対策の仕方も変わってくるのではないかなと思っています。</p> <p>いずれにしても魅力ある企業とか掛川の愛着であるとか、小さい頃からいろんなところで地域の人たちが中心になって子供たちと一緒に考えていく機会を増やすことは</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 大事だろうなと思います。 |
| 会長 | この 86 ページのグラフのところだけ、何かコメントがあれば。 |
| 産業経済部長 | 高校生の求人はここに書いてある以上にものすごく求人は来ます。ただ、人はほぼ進学したり、良い企業があれば行きたいということで若干の出入りはありますが、これは当市といいますかこの周辺といいますか、市内にある高校の卒業生の形の中で行っておりますので、なかなか企業は買い手としては苦慮しているということで、この倍以上は求人がございますので。大変需要はあるとご理解いただきたいと思います。 |
| 委員 | 就業者に対しての割合なので、進学する子は相手にしておりませんから。やはり企業の魅力がわかっていないのか、掛川でなくてどうしても他所へ行きたいと思ってしまうのかということところが課題になってきているという事ですよ。 |
| 市長 | 絶対数が企業から求められている数字と高校生の数が全然マッチしていませんので。倍ぐらいの求人があつて、高校生がその半分ぐらいしかいない状況なのです。 |
| 委員 | そうなると、本当はその企業に勤める率は高くなっていいはずなのです。 |
| 市長 | だから今、高齢者とか女性とか外国人それから AI ロボットで、企業は対応をしていくという状況なのです。 |
| 委員 | 高校生が就職する余地があるってことですよ。 |
| 市長 | それはもう、今は働く人を欲しいという企業ばかりですから。 |
| (5) 災害に強く安全で安心な暮らしを支える基盤を整えたまち | |
| 会長 | 都市基盤分野のところになるかと思いますが、この件でいかがでございましょうか。 |
| 委員 | 先日、掛川市の防災訓練がありまして、うちのベトナムの実習生も参加させていただいたのですが、今回実は初めて参加させていただいて、地域の方としても外国人たちが来るという前例がなかったり、役割もないし、言葉の問題もあつたりとかで、私達と一緒にやって一緒にやるような形でないと成立しなかったのです。 これから 10%の外国の方が入られるようになっていく中で、そういうところも少し入れていただけると、もし何か災害があつた場合に対応しやすいということもありますし、災害が起こる前の減災や予防という部分でも何かしらできるのかなと思いますので、そういったところも少し入れていただけるとありがたいかなと思います。 |
| 委員 | 3点ございます。 まず1点目、97 ページの①の総合的な防災減災体制の確立に当たるとは思います、市全体ですね、土地利用構想 23 ページの中で自然環境との共生と言う項目がございます。良好な自然環境との共生とか環境保全ということはもちろんかと思いますが、自然環境というのは生活に牙をむいて、これまでとは比べ物にならないようなインパクトを生活に与えるということは近年の災害からも明らかです。 国交省としてもハード対策とか、ソフト対策ということで、これまでも、またこれからも進めていくというところでございますが、おそらくかなり個人的な考えも入っていますし、現在、本所でも検討中のところではあります、住まい方とか土地利用そのものの見直しとか、そういったところに踏み込んでいかなければならない時代に来ているのかなと考えております。 そういった中で多極ネットワーク型のコンパクトシティの実現というところを進め |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ていらっしゃる中で、できるだけ住まい方の誘導とか、そういったところに取り組んでいただければハード・ソフト、住まい方というところで、ハード的な防災対策、レジリエンスの確保というところに繋げていけるのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。それが1点目です。</p> <p>それから2点目で、同じ97ページですが、自助の中で防災意識防災力の向上というところで、かなり各論になってきてしまいますが、今各自治体さんでマイタイムラインの作成を進めてらっしゃるところが多くございます。台風なんかはほしい3日前になれば自分の所の近くを通るかとか、ある程度確実性を持って考えられますので、ほしい何時間前に何をするというのを行政レベルではなくて、個人家庭レベルで何を準備をするかというところを計画的にできるようになっていますので、そういった取り組みもソフト対策として取り組んでいただければと思います。</p> <p>それから3点目になりますが、105ページで③ウォークブル推進都市の構築というところを書き込んでいただきました。こちらも国交省の方で、今年度特に大きく動き出しているところがございますので、書き込んでいただいてありがとうございます。</p> <p>これまでの都市政策に対して大きな変換点になっていると思います。車とかハード中心のまちづくりから人中心のまちづくりヒューマンスケールのまちづくりの視点を大事にしていこうという考え方です。具体的に何をやるか固まったものはないかと思いますが、書き込んでいただいている街路空間の再構築というのは大きな柱になってくるかと思います。その中で、街路空間だけではなくて、ぜひ大事にいただきたいのが、街路と背後のビルとの関係ですね。やはりそのビルであるとか建物の特に1階部分と、いかにこの街路部分をシームレスにつないでいくかというところで、冒頭で発言しました居場所づくりにも繋がっていくかと思います。その辺りを大きな動きではなくて、できるだけヒューマンスケールの小さな動きの中で考えていただければ、うまく繋がっていくのではないかと思いますので、ぜひよろしく申し上げます。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>まず3点ございましたけれども、よろしく願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>私もウォーキングをよくしますが、この前さわやかウォーキングで、山内一豊の歴史に触れるということで、愛知の尾張一宮で下車して歩く事をしていました。その日は一豊祭という大きな宣伝があったので、これは掛川市民いかなきゃいけないでしょうということで行ってきました。ところが、黒田小学校の一角に黒田城跡という碑が建っているだけで、黒田城は一豊が生まれたところと言われていますが、グラウンドでちょっとした催しが行われているだけで、掛川祭りを想像して行った私は、一豊祭と言ってこれだけの人が集まってくるのかと。</p> <p>さきほど市長が3つとおっしゃって、4つ目は掛川三城ですけども、きっと掛川城のことも宣伝してくださっていると思いますが、駅前の賑わい中心街の賑わいということもそうですし、107ページの事業で歴史まちづくり推進事業ともありますが、そういうようなことも含めて、軽トラ市とか納涼祭はものすごい賑わいでした。犬山城も行ってみるとグルメ街道があって、県外の商店も出ていますが、スイーツだとかいろんなお祭り会館みたいなものもあったり、普段のときも本当に賑わっているの</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ですよね。掛川には他にも色々な歴史的なものがありますし、葛布の体験ができる場所があったり、先ほどの居場所なども含めて、もう少し上手に何かやれないかなと。城下のレストランが高校生の勉強場所に提供してくださっています。以前、大河で取り上げられた時にはたくさんの方が来ていたので、あの賑わいをもう一度というか、それが通常のことになるように、夜は居酒屋、昼はそこで何かちょっとした歴史的なものをしたり、いい場所にしてくれたりとか、何かそういうことを色々アイデアを出し合っていていただけたらなと思いました。</p> |
| 委員 | <p>今回の改定案は全体を通して非常に骨格が明らかでわかりやすい作成書になっているなと思いました。特に先ほどの戦略面のところはもう非常に力強さを感じて、読んでいて非常に納得性が高く、うきうきしながら読むようなところが戦略4にはありました。</p> <p>第二回の審議会のときに掛川市の20年後の在り方という形で、交通移動のところはクローズアップされ、私自身刺激になったものですから。戦略5の地域交通を扱っているところで、もう少し具体的な内容が書かれることを期待していました。ちょうど静岡県で、静岡ショーケースプロジェクトというのをご存知だと思いますが、下田市で自動運転とマースが連携した実験を実施中です。下田市は広域と観光というキーワードで、少し前にやった松崎町は過疎地であると、それからこれからやる沼津市は市街地ということで、いろんなパターンで交通移動の今後について実験が行われています。進行中の事柄を計画書にうまく書いていくのはなかなか難しいかもしれませんが、5-⑦あたり、もう少し右側のページに具体的な事柄が入ってくると、市民の皆様もイメージできるのではないかなと思いました。</p> <p>それからあともう一つ、地域交通のところ、天浜線のことを書かれています。5-⑦の②で天浜線の利用ということで、観光客のみならず通勤通学利用者の利用促進をとありますが、天浜線の経営を見た場合に、定期利用のところの伸びというのは微々たるものだと思うのですね。少し沿線市町の協議会に関わったことがあるものですから、せっかく観光資源としてあるものなので、4の柱の中に天浜線というのを書き込むことはできないのかと感じたのです。先ほど4のところ質問すべきだったかもしれないのですが、要は掛川市において、天浜線の位置づけというのは広域の観光資源の一つとしても捉えていらっしゃるのかどうか確認できればと思いました。</p> |
| (6) 協働と連携によりふれあい豊かな地域社会を創り、世界と繋がるまち | |
| 会長 | <p>委員から行政の仕事の生産性の向上ということも指摘されておりますが、そのほかにも色々あるかと思っておりますので、どうぞご意見頂ければと思います。</p> |
| 委員 | <p>6ではなく全体のことを話すタイミングは多分あまりないと思うので、ここでお話しさせていただきます。</p> <p>改訂版の22ページに人口のフレームがありますが、実績値に関しては8ページの人口の数字と違う数字になっているので、合わせておいた方がいいと思います。22年と27年ですね。これ国勢調査だと思いますので。</p> <p>目標が2025年に11万500人、2040年に12万人というのは、横ばいではなくさらに増やすという目標として立てること自体はいいと思いますが、ただでさえ人口が全体</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>で減っていく中で、維持するだけではなくて増やすというのは極めて高いハードルであることはご認識いただいた上で各施策を進める必要があると思います。</p> <p>更にはこの目標値だからいいのだというように思考停止をするのではなくて、この目標に対して、実際には社人研の推計のような形で人口が減っていく可能性もありますので、実績値をきちんと毎年ウォッチして目標値との差をきちんと理解して、その差に対する再対策もあらかじめ考えておく必要があります。</p> <p>これはリスク管理の基本です。高い目標掲げて、もう大丈夫だと思うのではなく、実際の数字が計画と差が出るのであれば、それに対して常に計画を見直すと、一番大きいのは人口が減ると全ての分野に影響するのと、人口増えれば、1個2個施策を失敗しても大丈夫ですが、人口が減ると極めて施策の失敗の影響が広範囲にわたるので、人口が万が一目標通りに推移しなかった場合の案プランを持っておく必要があると思います。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの5番にも6番にも比較的繋がりますが、例えば交通の問題というのはお年寄りが街を歩きにくくなれば、今ソーシャルウォーキングというのが、先日女子医大でユニ・チャームさんと女子医大健康福祉部さんとのジョイントで、社会参加と運動歩くことを加えて健康増進しようということで、そこに繋がってくるので、いろんなその部署が、5番も6番も今度仕事のことにも重なってくると、お年寄りが働かなくなれば家の中に入ってしまい認知症になったりとかフレイルの問題が起きてくるような感じで、どの部署も全部いろんなところと繋がっているという意識で施策を考えていただきたいので、企画政策課しか書いてないとか、すごく気になっていて、いろんなことに全部繋がっていくよという意識で取り組んでいただければありがたいと思っています。</p> <p>それは5番も6番も同じで、いろんなことが全部健康づくりにも影響してくるし、介護の仕事を増やしていかなかったら、おそらく2050年に最大に地域包括ケアが崩壊する。全国的規模で介護職が確保できないと言われていまして、仕事のことにも関係してくるという感じで、いろんな分野が繋がっていることを言わせていただきます。</p> |
| 会長 | <p>6-③ですが、市民活動団体等によるまちづくりとありますが、その前に、協働にやるって所を入れてほしいなと思います。</p> <p>それと高校生との対応の中で、人との繋がりが言葉が表現されたのでホスピタリティだけではあるのですが。まちづくり地域づくり、人づくりなのですね。</p> <p>その点がね、ちょっと欠けているのじゃないかなと思います。</p> |
| 市長 | <p>考えます。</p> |
| 会長 | <p>5、6につきましては、ご意見が出て市の方からコメント頂く時間がなかったものですから、まとめてコメントして頂ければと思います。</p> |
| 副市長 | <p>全てコメントはできかねますが、少しだけ。移動手段のことにつきましては、まさに委員からおっしゃられた通り、今の市内でも将来的な移動手段を何か実験的なことができないか検討を進めています。先週も実は打ち合わせがあったのですが、ある企業さんと協定を結ぶ中で、今年5月にまちづくり集会で中地区という掛川市の地区の生</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>活支援者のご紹介もしていただいたところなのですが、もっとテクノロジーを活用した進化したバージョンで実験とかができないかは検討しています。検討しているのですが、書けなかったということですが、ただどういう書き方ができるかということは少し検討させていただきたいと思っています。</p> <p>それからその前の話で駅前からその掛川城までのところの話がありましたが、今の掛川駅前の状態については、ご指摘があった通り、掛川市としても課題意識を持っているところです。まさに田中さんにアドバイスいただいて、国交省のウォークアブル推進都市の指定もいただきましたが、そのような検討の中でどういう駅前のやり方がよくて、ウォークアブルで居場所にもなって、かつその賑わいのある通りを作れるかということについては、検討していきたいと思っています。</p> |
| 会長 | 先ほど天浜線の話が出ていましたが、それについて何かコメントできますか。 |
| 協働環境部長 | <p>天浜線につきましては、掛川だけでなく浜名湖をぐるっと回って、浜松、新所原に至るということで、広域観光の役目を担っていると思っております。</p> <p>その中で今、いろんなところが老朽化し痛んできたりしてお金をつぎ足してどうやって維持させようかみたいな話ばかりになってしまっている現状があります。一方で、現在まだ形には出ておりませんが、中部地方整備局さんが進めている太平洋岸自転車道の話であるとか、サイクルツーリズムとオリンピックの関係もありますので、そういったものを何か取り込んで、輸行であるとかいろんなことを含めて、過去に実験もしたことがありますので、そういったものを取り入れながら中東遠全体に広がるような取り組みが書き込めるかどうか検討させていただければと思います。</p> |
| 会長 | どうもありがとうございました。本日予定されておりました議事は以上という事で、終了させて頂ければと存じます。 |
| 市長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>いろんな意見をいただきました。しっかり反映できるように努力していきたいと思えます。</p> <p>天浜線の話がありましたが、重要なこの地域の資源でありますので、しっかりと活用して、市町村が合併して実は浜松市と掛川市がほとんどで、森町が入っているぐらいになってしまいましたが、そういう中でしっかり利活用を図っていききたいというふうに思っています。</p> <p>それから人口の問題がありましたが、外国人が6000人になり7000人という前提を立てておりますので、2040年12万人ということで、その後は多分高齢者がどんどん少なくなっていくので人口は減るかもしれません。2040年までは私自身は人口がそれほど減らないのではないかなと思っております。</p> <p>ただ、減ったときの状況についても、ある一方では少し想定しながら対応すると、あるいは減らないようにしていく施策が大事だと思っております。子育て支援を充実することも含めて。</p> <p>それから全体の総合計画の案を見て、ビジネスとの繋がりは少しやっぱり薄いのかなあという気がしています。ところどころに産業振興とか入れろという指示は部長にしたのですが、これからいろんなことをやる全ての点でビジネスの繋がりというのは、</p> |

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ボランティアにしろ、何にしろ、皆関わってくる話でありますので、その辺のところを改めて少し検討する必要があるかなと、何人の方からそういう話がありましたので検討したいと思います。</p> <p>今日いろんな意見をいただきました。何人かの方は発表ができなくて欲求不満で帰られるかと。メールでどんどんいただければそれでいろいろお答えしたり、逆に私たちの方からメールでご質問するなど取り組んでいきたいと思いました。</p> <p>最後にウォークブルですけれども、あれも市長になってからずうっと思い続けていた、前の前の市長がスローライフという食も含めてお話があって、私が市長になってからどういうウォークブルのまちに、綺麗なまちにしていこうかということがありましたので、今日もいろんな意見を聞いてさらに詰めて良い計画になって良い実施ができる、それで結果として掛川を素晴らしいまちにしていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。今日はありがとうございました。</p> |
| 事務局 | <p>次回の日程について</p> <p>総合計画の諮問を予定しております。1月24日金曜日午前10時からとなります。</p> <p>またご案内の方はお送りさせていただきますけれども、ご予約の程よろしく願いいたします。</p> |
| 7. その他 | |
| 8. 閉会 | |
| 事務局 | (省略) |